

美容 健康 マネー全部!! 400円税別

# 健活手帖

Kenkatsu.jp

vol.30  
2023  
May

自信顔作る1分体操

マスクを外して出かけよう!

奇跡の54歳!

中島史恵 直伝

お家ヨガで

びっくりシェイプUP



脳の成長は止まらない



Enjoy Aging

麻木久仁子  
青木さやか  
三宅裕司  
川野良子  
牛窪恵

Enjoy Pet Life

原田伸郎  
新良エツ子

初心者にも簡単 男性美容4選

新NISAで困らない将来マネー

一緒に歩いても恥ずかしくない!

パパを紺ブレでオシャレ改造



最新治療

# 大腸がん 名医5人

食生活の欧米化など、生活習慣の変化から、がんのうち、日本人が最も多くかかっている「大腸がん」。早期発見による適切な治療で治る可能性が高いがんですが、ステージが進んだ症例でも治療は日進月歩です。最新治療で知られる名医5人を紹介します。



大阪府

大阪急性期・総合医療センター

## 賀川義規医師

### 術前に放射線と化学療法で直腸温存狙う

手術の前に化学療法と放射線療法を組み合わせることで、機能温存と術後の再発転移抑制を目指した最新治療の開発に取り組む外科医が大阪にいる。

大阪急性期・総合医療センター消化器外科副部長を務める賀川義規医師は、結腸・直腸がんにおけるロボット手術において、「ホワイトサージェリー（出血のない手術）」に取り組む俊英。そんな賀川医師が、力を入れているのが「トータル・ネオアジュバント・セラピー＝TNT」という最新の治療法だ。

「従来は、まず手術をして、そのうえで再発転移の危険性があるときに化学療法や放射線治療を行うのがセオリーでした。一方、TNTは再発しやすい直腸がんに対し

て、術前に放射線療法と化学療法を行うことで術後の再発転移のリスクを下げ、がんが見えないぐらい縮小したケースでは直腸を温存する治療法です」

術前に短期間の放射線治療の後に2種類の抗がん剤を使った化学療法を行うことでがんの縮小を図り、手術を行うかどうかを判断する。従来なら手術で直腸を切除し、人工肛門の造設が必要だったケースでも手術を行わず直腸を温存できるケースがあることが海外の論文で報告されている。

「2018年頃から論文報告が始まり、欧米ではすでに治療ガイドラインにも記載されています。日本でも保険収載を目指して、大腸がん治療の最前線にいる仲間の先生たちと臨床試験に取り組んでいるところです」

化学療法と放射線療法を積極的に利用するこの治療を、外科医が行うことの重要性を、賀川医師はこう語る。

「治療効果に応じて手術をするか、見極めができるのは外科医です」

もはや外科医の仕事は切るだけではない。大腸がん治療の姿を大きく変える可能性を秘めたこの取り組み。賀川医師の肩にかかる期待は大きい。



かかむ・よしのり 大阪急性期・総合医療センター消化器外科副部長。富山医科大学（現・富山大学医学部）卒業。大阪大学大学院修了。大阪大学医学部附属病院高度救急救命センター、市立豊中病院、関西労災病院等に勤務の

ち、2020年から現職。21年から阪大大学院消化器外科科学招聘教員。日本外科学会、日本消化器外科学会、日本消化管学会、日本大腸肛門病学会、日本消化器病学会のそれぞれ指導医ほか。趣味は「手術」。